

うえの事務所通信

こんにちは！ 3年程前から花粉症になってしまい、今の季節、一度くしゃみをするとかくしゃみが止まらなくなる上野俊夫です。

私は、最近、ご依頼者がいないときは室内でもマスクをしています（調子がよくなります）。また、知人が楽天で花粉症対策の伊達メガネを1300円で購入したようですが、これも結構効くようです。花粉症の皆様は、それぞれに花粉症対策をして、この季節を乗り切ってください！

2月5日、宮城県の山元町に、館林市の教員や館林市役所の職員さんを中心に約30人で災害ボランティアをしに行ってきました。山元町は宮城県の最南部にあり、大震災の際に、大津波によって壊滅的な打撃を受けました。

私達がしたボランティア活動は、いちご農家のビニールハウスの清掃です。この農家さんは、大震災でご自身のビニールハウスを失ってしまいました。震災直後は大切なハウスを失って茫然自失だったとのこと。しかし、「くよくよしていてもしょうがない。もう一度やり直そう。」ということで、同じようにビニールハウスを失った他の農家の方と共同で会社を設立し、銀行から融資を受けて、ビニールハウスをまた作ったというのです。立派なビニールハウスでした。この農家さん達の逞しさ、心の強さに、逆に私たちが勇気を貰ってきました。

なお、着くまでビニールハウス内での作業だとは知らされておらず、当日かなりの寒さを予想し頭の先から爪先まで完全防寒で行ったのですが、ハウス内は暑く、結局Tシャツで作業をしてきました。



3月7日に太田市役所で、パワーハラスメントについての講演をしてきました。受講者は、太田市役所の管理職の職員と太田市の企業の経営者さんなどです。出席者数は125名でした。パワーハラスメントに関する裁判例などを紹介しながら、どのようなことをするとパワーハラスメントとなるかなどを話してきました。

現代社会では、部下がかなりの問題行動をしても、ちょっと大声を出しただけで「パワーハラスメント」と言われてしまう可能性があります。講演終了後、太田市役所の管理職の方から聞いたのですが最近の管理職の中には、「これを言ったらパワハラになるんじゃないか」と一言一句に気を使ってしまい、神経がすり減ってしまう人がいるそうです。もちろん、パワーハラスメントの被害はなくさなくてはなりません。ただ、あまりに細かいことまでパワーハラスメントと言ってしまうと上司の方が身構えてしまい、十分な指導監督ができなくなるという弊害もあります。このような弊害からも、何をもってパワーハラスメントとするかは難しい問題といえ、今後も裁判例をチェックするなどして研究を続けていきたいと思えます。